

2016年6月22日

地域のさらなるイメージアップを図ります

東武スカイツリーライン 松原団地駅の駅名を

どっきょうだいがくまえ そうかまつばら
「獨協大学前<草加松原>」に改称します！

東武鉄道株式会社
 草加市
 松原団地駅名変更協議会

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、2017年春に東武スカイツリーライン松原団地駅（所在地：埼玉県草加市）の駅名を「獨協大学前<草加松原>」に改称します。

松原団地駅は、1962年に建設され、当時“東洋最大規模のマンモス団地”と言われた松原団地の最寄駅として、同年12月1日に開業しました。その後、1964年に獨協大学が開学し、各種文化施設が整備され、文化都市として発展し、現在も多くのお客さまにご利用いただいております。

このようななか、埼玉県草加市では、現在、独立行政法人 都市再生機構（UR）による「松原団地」の建て替えおよび市街地の整備が進展していること、2014年3月に旧日光街道の「草加松原」が国指定の名勝地“おくのほそ道の風景地”となったこと等から、草加商工会議所を中心に、「松原団地駅名変更協議会」が設立され、今般、草加市及び同協議会の連名で当社に対し、「松原団地」の駅名を「獨協大学前<草加松原>」に変更して欲しい旨の要望が提出されました。

当社としても、開学以降、地域と歴史を重ねてきた「獨協大学」を駅名とすることで、「大学のあるまち」を想起させ、地域のイメージアップを図れるとともに、副駅名として国指定の名勝地「草加松原」を採用することで、観光地としてのPRにもつながることから、駅名を改称することといたしました。今後も当社では、地域とともに沿線価値向上を目指してまいります。

概要は別紙のとおりです。

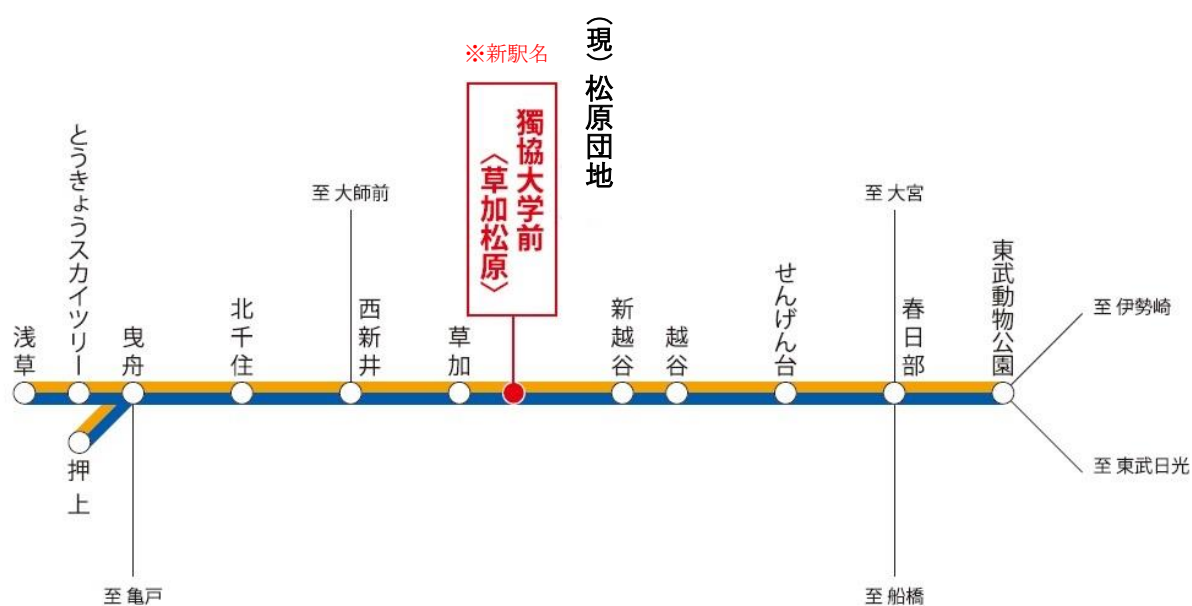
以上



△ 駅名改称後の駅名標板イメージ

東武スカイツリーライン 松原団地駅における駅名改称の概要

- 1 新 駅 名 称 獨協大学前<草加松原>
- 2 駅名改称日 2017年春予定
- 3 所 在 地 埼玉県草加市松原1-1-1
- 4 乗 降 人 員 56,266人(2015年度 1日平均)
- 5 駅 開 設 日 1962年12月1日



△ 東武スカイツリーライン路線図 (主要駅のみ掲載)

以 上